



平成30年12月5日

認められることで



〈ドッジボールに熱中〉

先日、ある学校の体育館で、一枚の掲示物が目にとまりました。「時間になったら教室に」子供の字で画用紙に書かれています。「休憩時間が終わったら速やかに教室に戻る」好ましい生活習慣を子供たちが自ら身に付けようとする取り組みが行われていることが想像できます。主体的な態度がうかがえます。

しかし、なぜか違和感を感じます。本校の体育館にはそのような掲示物がないためだと気付きました。本校の子供たちは、休憩時間終了5分前を

知らせるチャイムが鳴ると急いで教室へ向かいます。本校には、「時間になったら教室に」の掲示は必要ありません。むしろ、「あわてず教室に」という掲示が必要なくらいです。

熱中しているドッジボールを止めてボールを片付ける。楽しい鬼ごっこを止めて教室に向かう。なぜ本校の子供たちは時間を守れるのだろうか？再び、思いを巡らせます。

きっと、時間を守って教室に戻る態度を認められるのでしょう。また、家庭でも認め、褒められて育っていることが、好ましい生活習慣を身に付けていることに大きく関係していると思います。

このような環境で育っている子供たちは幸せです。「時間を守る」に限らず、よりよい生活習慣を身に付けられるよう、どんどん認め、褒めていきたいと思います。



〈チャイム2分後〉